

令和6年度 広報月間 実施報告

各県民局へ表敬訪問を行いました。

訪問日時	県民局（県民センター）長名	支部	訪問者
9月3日(火) 10:00～	神戸県民センター 内藤 良介 センター長	神戸 明石	大口晋 会長、大西勝一 支部長、池田健一 支部長
9月2日(月) 10:00～	阪神南県民センター 小林 拓哉 センター長	阪神	大口晋 会長、本田圭 副会長、辻村さおり 支部長 松井克仁 副支部長
9月2日(月) 13:00～	阪神北県民局 宮口 美範 局長	阪神 摂丹	大口晋 会長、辻村さおり 支部長、倉橋貴裕 支部長
9月11日(水) 10:00～	丹波県民局 糟谷 浩行 局長	摂丹	大口晋 会長、倉橋貴裕 支部長、足立康裕 副支部長
9月12日(木) 11:00～	中播磨県民センター 福山 雅章 センター長	姫路	大口晋 会長、本田圭 副会長、黒田実男 支部長 平田真也 副支部長
9月17日(火) 15:00～	西播磨県民局 城下 隆広 局長	西播	大口晋 会長、上田八郎 支部長、桂文生 副支部長
9月18日(水) 10:00～	北播磨県民局 成田 徹一 局長	明石 東播	大口晋 会長、池田健一 支部長、徳平尚幸 支部長 増田和英 副支部長、野間清史 会員
9月17日(火) 10:00～	東播磨県民局 野北 浩三 局長	明石 加古川	大口晋 会長、池田健一 支部長、中嶋真弓 支部長 十倉洋治 会員
9月24日(火) 13:30～	但馬県民局 多田 欣也 局長	但馬	大口晋 会長、関岡勝利 支部長、森木正廣 副支部長
9月9日(月) 10:00～	淡路県民局 川井 史彦 局長	淡路	大口晋 会長、本田圭 副会長、泰地昭男 支部長 宮崎正行 副支部長



神戸県民センターにて



阪神北県民局にて



阪神南県民センターにて



丹波県民局にて



東播磨県民局にて



北播磨県民局にて



中播磨県民センターにて



西播磨県民局にて



但馬県民局にて



淡路県民局にて

令和6年度 広報月間実施報告

企画部 金本 教良

日時：10月1日(火) 12:00～16:00
 場所：デュオこうべ 採光ドーム
 主催：兵庫県行政書士会

令和6年度の「法の日」無料相談会を10月1日(火)に採光ドームで開催しました。

今回は、企画部理事・部員ならびに、ADRセンター兵庫、コスモス成年後見サポートセンター、農地・土地専門部会から参加協力をいただいていた開催となりました。

イベント内容は、相談会に加え、ユキマサくんの着ぐるみによるパフォーマンス、クイズラリーやADRセンターの取り組み紹介、ICTの取り組みの動画上映など、盛りだくさんの内容で実施しました。

クイズラリーは、ブース内に掲示されたポスターから答えを探し出す、全3問の穴埋め形式で



実施。正解すると(正解しなくても)ユキマサくんの専用袋に入ったお菓子をプレゼントし、お子さま連れの方々に楽しんでいただきました。



ユキマサくんの着ぐるみにはプロのアクターさんが入り、90分に1回のペースで各3回登場。愛らしいポーズやしぐさに子供や学生たちが大勢集まり、写真撮影や握手などの触れ合いを通して、一気にイベントが華やかになりました。採光ドームは日が差し込むため、10月といえどもかなり暑いなか、アクターさんには頑張っていただきました。

相談件数も11件と例年とほぼ同水準で、「街の法律家」としての役割にもしっかりと貢献できたと思います。

今回のPRイベントでは、従来の広報活動とは異なる新しい試みに挑戦し、行政書士の業務を市民の皆さまに広く知っていただく良い機会になったと思います。今後も、より多様な層の方々に情報を届け、行政書士への理解を深めていただくために新たな企画を積極的に展開してまいります。

令和6年度 各支部無料相談 件数報告書

権利義務・事実証明

	内 容	神戸	阪神	摂丹	明石	加古川	東播	姫路	西播	但馬	淡路	計
1	遺言・相続	54	42	44	43	34	0	18	1	14	5	255
2	各種契約(贈与、売買、交換、請負、委任、消費、賃貸借)	6	0	0	4	0	0	0	0	1	0	11
3	定款、内容証明、会計記帳等	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
4	不動産関係	4	0	13	0	9	0	4	0	0	0	30
5	戸籍関係(結婚、離婚、養子縁組等)	4	0	1	2	2	0	0	0	0	0	9
6	知的資産	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	その他	12	10	7	9	5	1	3	0	0	0	47

許認可関係

8	許認可申請手続(建設、風俗営業等)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
9	法人設立	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
10	土地開発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	農地転用	0	0	5	0	0	0	0	0	3	2	10
12	自動車登録(車庫証明含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	入管関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	合 計	87	53	70	61	50	1	25	1	21	8	377

行政書士制度広報月間 市民公開セミナー「SDGsと防災 ～誰一人取り残さない～」

企画部 谷口 朝子

- 日時 令和6年10月19日(土) 14:00～16:00
- 会場 クリスタルホール
- 主催 兵庫県行政書士会

令和6年10月19日(土)クリスタルホールにて、兵庫県行政書士会主催の広報月間市民公開セミナー「SDGsと防災 ～誰一人取り残さない～」を開催しました。

昨今、頻発している災害と、増加する日本在住の外国人に焦点を当て、災害への備えや日本人として外国人のためにできることについて学びを深めました。

講演は3部制で、第1部では宇田元会員に「兵庫県行政書士会のSDGsへの取り組み」として、災害時に備えるための事業継続計画(BCP)の策定や地域社会との協定について、解説いただきました。

第2部ではテレビなど各メディアでご活躍されているダニエル・カール氏をお招きし、「日本で暮らす外国人の災害への備えについて」と題し、東日本大震災のときにご自身が行われた災害支援について、外国人だから困ったこと、外国人だからできたことなどさまざまな角度から、山形弁や関西弁を交えてユーモアたっぷりにわかりやすくお話しいただきました。



日本語特有の“曖昧さ”が災害時には特にあだとなるお話はとても印象的でした。例えば、日本語は主語を省略して話すことが多いことから、日本語に慣れない外国人には誰の話をしているのかわからない。また、「あれ」という代名詞はとても便利に使える反面、何かの名詞を指しているのか誰かの行動を指しているのか、よくわからないことが多い。さらには、イエスとノーをはっきり言わないので真意がつかめず困惑することが多い。同様に、謙遜のしすぎもどこまで本当かわからない等、日ごろ無意識に使っている表現が外国人とのコミュニケーションに弊害をもたらす可能性があることに、あらためて気づかされました。最近よく見かける“やさしい日本語”を使えるよう心がけたいと思いました。



第3部では森田幸生会員と具本輝会員に「兵庫県行政書士会の災害への取り組み」として、各自治体との協定、近畿災害対策まちづくり支援機構における活動、また能登半島地震の被災者支援活動についてお話しいただきました。

会場参加者は46名(役員を含む)と、あいにくの雨天にもかかわらず多くの方にお越しいただき、また、WEB参加者も23名で、皆さま方の関心が高いテーマであることを実感するセミナーとなりました。